

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	発達障害者の特性に応じた支援策の充実・強化	事業開始年度	平成18年度(一部19年度)	作成責任者		
担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	担当課室	障害者雇用対策課 地域就労支援室	地域就労支援室長		
会計区分	一般会計 労働保険特別会計雇用勘定	上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な各項目を記載)	雇用保険法第62条第1項第5号 障害者の雇用に関する法律第11条	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後、発達障害者の求職者が増加し、就労支援について体系的な支援の実施が必要になることが見込まれる中で、全国的な体制の整備に向けて、ハローワークにおける発達障害者の支援体制を拡充・強化するとともに、支援機関や事業主等への啓発周知事業を実施し、発達障害者の雇用の促進と安定を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○若者コミュニケーション能力要支援プログラム(平成19年度から実施) 発達障害者等コミュニケーション能力や対人関係に困難を抱えている者について、ハローワークにおいて希望や特性に応じた専門支援機関に誘導するとともに、障害者向けの専門支援を希望しない者については、ハローワークに就職チューターを配置し、専門的な相談・支援を実施する。</p> <p>○発達障害者就労支援者育成事業(平成18年度から実施) 発達障害者支援関係者等に対して就労支援ノウハウの付与のための講習会及び体験交流会を実施するほか、事業所において発達障害者を対象とした職場実習を実施することにより、雇用のきっかけ作りを行う体験型啓発周知事業を実施する。</p>					
実施状況	<p>○若者コミュニケーション能力要支援者就職プログラム ・就職チューター配置数:10局25名 ・就職チューターが実施する個別支援の対象者数:1,153件 ・就職チューターによる重点就職支援対象者の就職率:32.7%</p> <p>○発達障害者就労支援者育成事業(H21年度) 実施ブロック数 全国6ブロック セミナー参加者数 1,458人(就労支援者講習・雇用啓発セミナー・体験交流会の合計)</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	102	97	128	249	302
	執行額	52	71	107		
	執行率	51.0%	73.2%	83.6%		
	総事業費(執行ベース)	52	71	107		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>○若者コミュニケーション能力要支援者就職プログラム (就職チューター) 年1回全国の就職チューターを集め、ケーススタディや意見交換等を通じて就職チューターの活動状況・課題等を把握するほか、事業年度の翌年度5月10日までに事業実施状況報告書の提出を労働局に求めており、個別支援対象者数、就職件数、専門支援機関への誘導者数等を把握している。</p> <p>○発達障害者就労支援者育成事業 受託者に対して、適宜連携を図り事業の進捗状況等を把握するほか、事業年度の翌年度4月10日までに1年間の事業報告書及び精算報告書を提出させ、事業内容を確認している。</p>				
	見直しの余地	<p>○若者コミュニケーション能力要支援者就職プログラム 近年増加している発達障害を有する求職者について体系的な支援の必要性が見込まれる中、ハローワークの専門援助部門のみならず一般相談窓口での支援体制の充実が求められており、全国的な体制整備に向けて引き続き本事業を継続する必要がある。</p> <p>○発達障害者就労支援者育成事業 平成22年度より、効率的な事業運営のため、受託者の選定については企画競争から一般競争入札に移行したところ。また、事業主の発達障害者に対する理解を促進するため、委託事業の内容のうち事業主向けの雇用啓発セミナーを廃止し、労働局の直轄事業として発達障害者職場実習を実施することとした。現在、事業主や就労支援関係者の発達障害者に対する理解はまだ十分とは言えない状況であり、今後も本事業を通じて意識啓発を図ることが重要であるため、引き続き本事業を継続する必要がある。</p>				
予算監視の・効率化	概ね妥当であるが、引き続き予算の執行状況等に留意し、今後見直すべきところは予算に反映すべき。					
補記						

若者コミュニケーション能力要支援者就職プログラム

厚生労働省
98百万円

【予算示達】

A 各都道府県労働局
98百万円

若者コミュニケーション能力要支援者就職プログラム経費

発達障害者就労支援者育成事業

厚労省
9百万円

【企画競争】

(社福)帯広福祉協会
1.5百万円

B.(社福)横浜やまびこの里
1.6百万円

(社福)ウエルビーイングつるが
1.4百万円

(社福)北摂杉の子会
1.5百万円

(社福)旭川荘
1.6百万円

(社福)豊徳会
1.5百万円

(企画委員会・就労支援者講習・雇用啓発セミナー・体験交流会の開

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.都道府県労働局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
相談員経費	就職チューターに対する謝金	92			
その他(事務費)	発達障害学生に対する就労支援及び発達障害者就労テクノロジー機器の設置等	6			
計		98	計		0
B.(社福)横浜やまびこの里 (発達障害者就労支援者育成事業)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	企画委員会委員、各種セミナー講師謝金・事務補助員賃金	0.6			
庁費	会場借料、資料印刷、広報経費等	1			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)